

災害対策本部の整備について

総務部危機管理課

南海トラフ巨大地震等の大災害時に、迅速かつ的確な対応のために、情報の一元管理、的確な情報の発信等を行うため、災害対策本部機能の充実を図りました。

① 防災情報機器の集約配置

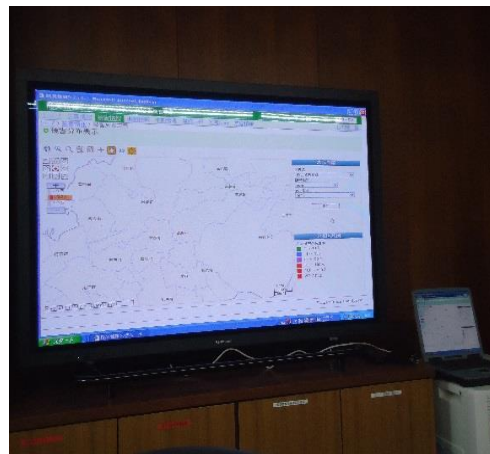
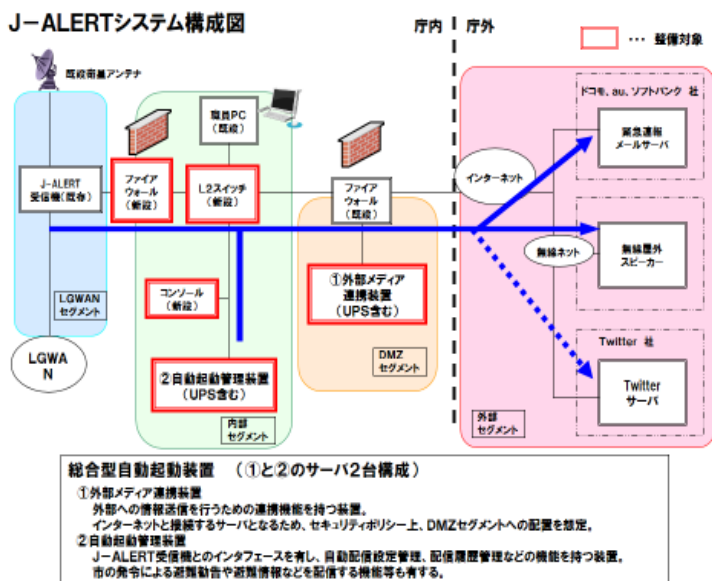
これまで、事務室や書庫等に分散して配置されていた防災関係情報機器（愛知県高度情報ネットワークシステム、防災デジタル行政無線、Jアラート）を第4会議室内に移設するとともに、災害時専用電話機、小電力トランシーバー、被災地域全域の情報収集のために屋内アンテナ付きテレビを配置しました。



② 防災情報システムの導入

Jアラートからの緊急情報を自動的にエリアメールやモーターサイレンなどで市民に伝えるための自動起動装置として、防災情報システムを導入しました。

防災情報システムでは、被災状況や避難情報等の集中管理、避難勧告対象地域の世帯数等の情報が、大画面モニターにより逐次確認できます。



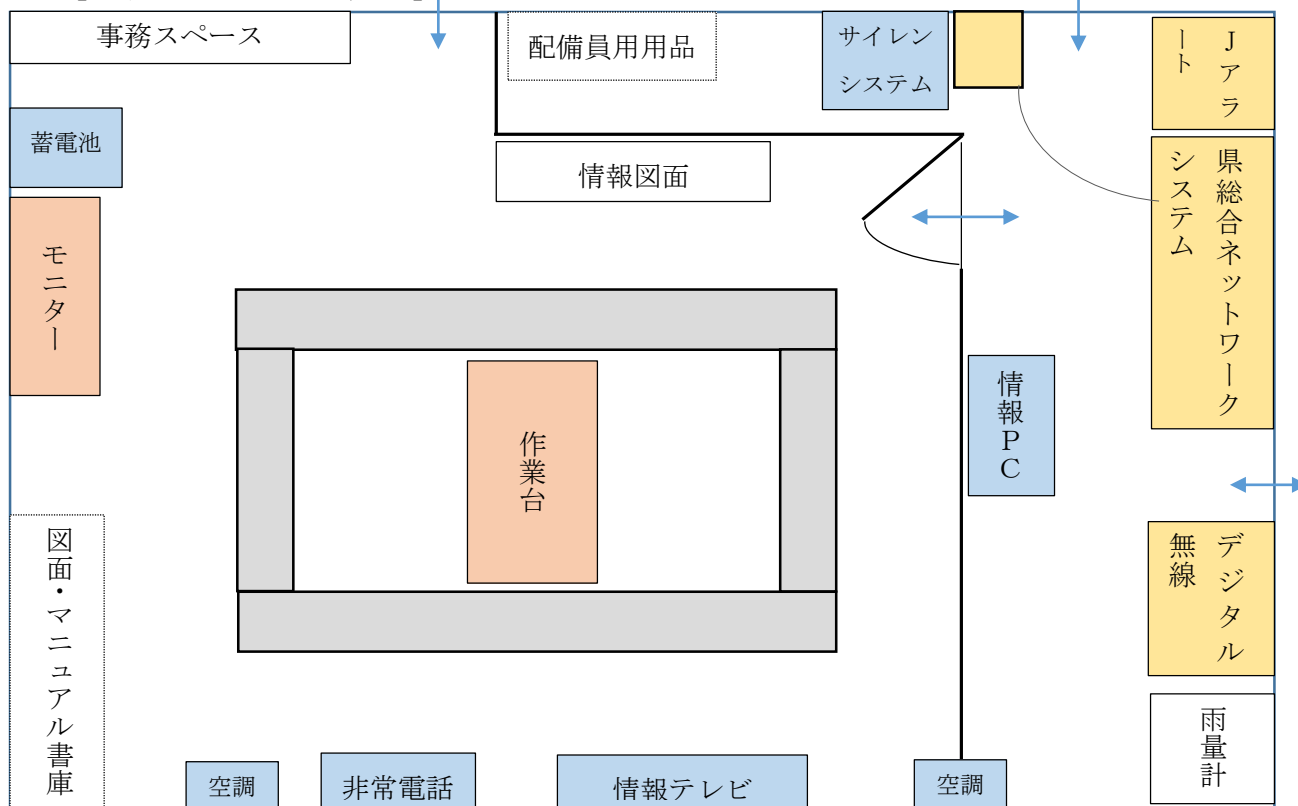
③ 非常用電源等の確保

長時間の停電時においても本部機能を維持するため、市役所の非常用電源を配線するとともに、蓄電池、簡易な太陽光発電機を導入しました。

また、24 時間季節を問わず本部機能、環境を維持するため、消費電力の少ない LED 電灯の設置、単独の空調設備を設置しました。



【災害対策本部室設置図】



防災サイレン及びマンホールトイレについて

総務部危機管理課

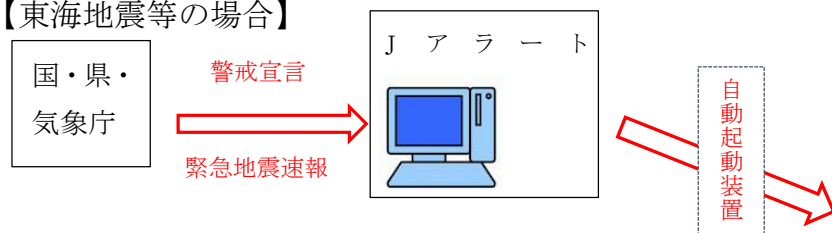
市民への危機を迅速に知らせるために、市内 6 箇所にモーターサイレンを設置しました。また、避難所等主要な災害対策施設に、災害時における環境向上のため、マンホールトイレを設置しました。

① 防災サイレン

音達距離半径約 3 k m の性能を持つ大型のモーターサイレンを、市民会館、西中学校、竹の山小学校、相野山小学校、東小学校の 5 箇所に、半径約 1. 5 k m の小型サイレンを三ヶ峯給水場に設置しました。

★サイレン吹鳴までの流れ

【東海地震等の場合】



【風水害の場合】



② マンホールトイレ

避難所 4 施設（東小学校、南小学校、相野山小学校、スポーツセンター）、拠点施設 2 施設（市役所、市民会館）に、既設浄化槽を利用したマンホールトイレ計 19 基を設置しました。

マンホールトイレは、最上流部から水を流すことにより、糞尿をトイレ内にためたままにすることが無いため衛生的であり、避難所における感染症予防にも役立ちます。

